市内小学生によるあんぽ工房見学とあんぽ柿の実食

伊達市では、児童を対象に農産物の収穫や施設見学等を行い、地産地消・食育活動を通じ子どもたちの農業に対する興味の幅を広げ、郷土愛を育み、将来的な担い手の確保に繋げます。

１　目的・対象

柱沢小学校の全校児童が総合的な学習の時間を活用して今年 100 周年を迎えるあんぽ柿に関する校外活動を行う。ふくしま未来農業協同組合伊達地区本部が所管する「あんぽ柿振興センター（あんぽ工房）」を訪問し製造ラインを見学する。

あんぽ柿は、硫黄で燻蒸するなど、ひと手間を加えることにより他地域では類を見ない「綺麗なオレンジ色を残す」唯一無二の「あんぽ柿」になる。このような特産物を生み出した先人の知恵に触れることで郷土愛を育む。

２　内容等

①　日　時　令和４年 12 月 16 日（金）午前９時から 11 時 30 分

②　場　所　ふくしま未来農業協同組合伊達地区本部
あんぽ柿振興センター（伊達市梁川町）

③　参加者　伊達市立柱沢小学校全児童 39 名、教職員７名　計 46 名

④　内　容　あんぽ柿の歴史・作業説明等
お土産あんぽ柿の贈呈式（代表児童へ）

担当｜産業部農政課
電話　024-573-5635